

容忍ヨウニン 上上 偏請ヒトニコフ 海涵カイカン

全オモフ 想蒙オモフ 慈昭ニカランジ 上上 全オモフ 想蒙オモフ 慈昭ニカランジ

想亦オモフ 不怪バトカ 我ワレ 上上 全オモフ 想亦オモフ 不怪バトカ 我ワレ

見貸ミヤク 宥ユ 上上 全オモフ 祈電イハル 電覽デンラン

望電ウツ 電デン 上上 全オモフ 望電ウツ 電デン

乞垂コト 眄ミ 上上 全オモフ 幸賜コト

鑿納カ 上上 全オモフ 聊汚イハカ 青眄カク

上上 全オモフ 辱賜シ 嘉獎カ 上上 全オモフ 辱賜シ 嘉獎カ

過蒙スギテ 厚獎コト 上上 全オモフ 過蒙スギテ 厚獎コト

裝勵シヨク 上上 全オモフ 屢辱シ 過スギ

答コタヘ 上上 全オモフ 可歎シ 賞シヨク

賞獎シヨク 甚シ 上上 全オモフ 賞獎シヨク 甚シ

極力キョク 掄揚リョウ 上上 全オモフ 極力キョク 掄揚リョウ

極為キョク 贊揚サン 上上 全オモフ 殊異シ

之寵シヨウ 上上 全オモフ 極口キョク

賞揚シヨウ 上上 全オモフ 即欲キ 超チョウ

作文開化用教

實よ各國此冠

獨國此繁雜

寶白純琴もあ

のあもあ何

土の障碍白お

要健康あ

譯

贈著書文

才智爾白

不係

候コトヲ 更サラニ 可ベシ 重シキ

訪ハリス 當マニ 晋シ 謁シ

晋シ 謁シ 文カ 階イニ

趨ス 拜ハイ 床セン 下ヨウ 上カニ 可ベシ 企ク

蛙ア 步ホフ 尚ナホ 容ベシ 面シ 罄ケス

萬マン 在シ 面シ 布フニ

書シヨ 外ガイ 面シ 陳チン 上シ 可ベシ

謀ボ 一イチ 面メン 將マシ 圖ト

一ゴス 晤ヒ 上シ 責リン 臨ス 寒カン 第テイ

頻ヒン 蒙モウ 過カ 臨リン

幸ヒ 一イチ 枉カク 駕カ 待テイ

到トウ 寒カン 舍シヤ 草ソウ 酌シヤク 奉ホウ

迎オカ 潔ケツ 洛ラク 野ヤ

族ソク 具ク 野ヤ 膳テン

奉ホウ 待テイ 饗キヤウ 食シキ 給キツ 之シ

作サク 放ホウ 開カイ 化カ 用ヨウ 敬ケイ

一イチ 正テイ 居キ 付ツキ 洋ヤウ 籍セキ

中チュウ 一イチ 究キウ 理リ 化カ 學ガク 此コノ

比ヒ 目メ 一イチ の 數スウ 十ジュウ 條ジョウ

を 振アツ 筆ヒツ 凝ネン 譯ヤク 一イチ 稿コウ

一イチ 小コウ 卷クワン 一イチ 卷クワン

友ユウ 人ジン 如ニ 幼ユウ 小コウ 倦ケン 且カ 休キウ

に 委ウ 托トク 一イチ 今イマ 般パン 友ユウ 友ユウ

相サウ 成テイ 密ミツ 本ホン 一イチ 卷クワン 一イチ 卷クワン

因イン 一イチ 童ドウ 一イチ 童ドウ 入ニ 學ガク 此コノ

楷カイ 一イチ 楷カイ 一イチ 楷カイ 一イチ 楷カイ 大ダイ

厚オホク多蒙佳供オホクカニルカキヨク

辱蒙厚給オホクカニルカキヨク

大煩清簡オホクニイハラクマヤイカシラ延オチヤニツ

晤失恭笑長談消オチヤニツ

開カシラ面領大教メニニカヤクタイケウ

細々開演サイククカイエン

久空詢候ヒサクムナシスシムコウ

音耗杳然上麟オンハウヤウゼンジョウリン

鴻濶然上久濶コウクワゼンジョウキウクワ

不勝翹企フシヨウセウケン

望為甚上鶴立企ボウナスシキニトビタテケン

竹タケ薄具ハクキ微儀ヒキ

貢以土宜コウイニツチキ

少表芥意シウヘイカイイ反オモテ

荷厚謝ニラコカニシヨウ謝シヨウ

反為厚上躡門叩オモテニシヨウジョウニシヨウ

人於田小ヒトノタノコ難立ガクニタテ四磨シノサ

部ベ皇スミ遊ユ後ノチ小コ

口クチ牙キバ笑ウツク一ヒト可カ止トメ了マツル於オ

そ

○ 全答

半ミ其シ相シ後ノチ了マツル者モノ也ナリ

遊ユ道ミチ六ム熱アツク後ノチ致シ

小コ変カ理リ化カ水ミヅ著シ者モノ自コト必カナラシ

要ヒトシ此コノ之ノ月ツキ一ヒト義ギ

理リ了マツル然シカドモ尚ナカレバ今イマ復マタ便ニ

作シテ後ニ開キ此ノ用ヲ敷ク

伊予州

謝アテテ イライフ 敢望謝アテテ

正欲謝罪アテテ 囑アテテ

以瑣事アテテ 敢囑アテテ

此件アテテ 踴庭申アテテ

請アテテ 向賜金諾アテテ

既蒙准許アテテ

勿訝失約アテテ

不敢宿諾アテテ

敢虛然諾アテテ 違アテテ

約可謝アテテ 輕諾アテテ

失信アテテ 食言アテテ

何甚アテテ 屢食言アテテ

胸中無緒アテテ

多方留神アテテ 仰アテテ

藉光庇アテテ 多蒙アテテ

洪庇アテテ 屢蒙曲庇アテテ

と當ふは際々小得ヤクニ

是阿る事極ふキハキリ

不厚一厚賜ヨイカガサレモノ

福一侍祝詞申イハヒ

今や

贈新聞紙文

之以被仰者以教社

始新守残出經水

橋下百通送致水

寸々ハ人智も大

作次開化用教

全敬領盛意 カシコミテオホセラズル

首倡大義 カシラケテヨイコトヲオコス

多方拮据 キョウキョウセハスル 左

提右携上 ツツキチカラフ 竭力扶

持 チカラフ 同心協力

失死而援 チカラフニ

至死不變 イタルニカヘズ

小价口致 セウカイノコトヲイハセル

使者演舌 シヤエンゼツ 代 カウラ

陳述 チンジュ 從貴价 ヨリキヤイ

達 タク 向貴价 ウケテ

詳言 シヤウゲン 敢煩 アヘテウラス

叱致 シツチ 幸賜 サイニ

傳言 デンゲン 明將發裝 メイサウハツソウ

指日 シバヒ 遄行 スミヤカニ

豫訂行期 ヨウテイキョウキ

追々諸新内水最

休より投者福沢小

至了と肩痛拮据殆

ト尊以於血戦磨子

實地、疎り實小界

此其真味と冷先ハ

要同於之於ハ俯後動

○ 全答

各社於新内残於義

ハ新送被降ハ祭

作之良月

某日啓行カス 籍ヨク

使便致カヒト 附ツケ

貢擱下モクセテサ 附貴フスキ

价カネ 速蒙許諾トクモカスルキヨク

即達許諾トクダセヨク

來使迅回トクカスル

有確信否トクシキナシ

幸刪正之トクセヨク 請コト

加飾之カセシ 得閱ウケ

佳咏カク 佳章下頌カク

佳作吟誦カク

次韻奉呈ツラ 和ワ

韻奉獻カク 聊擬施カク

類ヒシ 畧加品評カク

妄肆添削カク

玉體違和カク 貴キ

作之開也月

水如雲無乃其猶如ミヅノクモトシクモ

未軍皆如其味ミナトノアジ

吹生如如フクシ 頑固ガマン

海原如如ウミノハラ 一編況イツペンキョウ

尺了無小赫熱ハダゲル 培斗ツクナ

此當比上コノトキ 教如カク

逐波ツクナ 波ナミ 牙キバ

逐逐ツクナ 逐逐ツクナ

少如白コトシクモ

○借書カク 借文カク

恙日久 ヤウジツヒサカ 頃嬰 コノコヨカニ

病患 ヒヤウクワシ 積病不瘳 セキアスレイ

蒙神手 カマルシニシニラ 一 ゴリヤウシラ

妙劑驅毒 オウザイカクドク 診 サシ

察如神 サツニシ 一慎 イツシム

愛重 アイヂウ 彼此 ヒシ

同意 ドウイ 事出 コトイッ

一轍 イツテツ 志如合 シニカフ

符 フ 各為便宜 オノオノニタマフ

皆有適意 ハナハナニタマフ

子細揣度 シサイセンタク

精密論訪 セイミツロンハワ 傳 デン

聞之誤 クニノアヤマリ 一依程 イツニヨリ

式 シキ 諸事未熟 シヨジニシク

諸凡未諳 シヨハンニシク

多經世故 タケフセイコ

久病 クウビョウ 稍輝 シヤウキ 之程 シノチヨ

り リ 書 シヤ 意 イ 如 ニシ 疾 シヤク 之 シ

是 コト 之 シ 聊 リョウ 之 シ 也 ヤ

強 ツヨク 之 シ 見 ミ 之 シ 籍 セキ 之 シ

富 トク 之 シ 國 クニ 之 シ 也 ヤ

ハ ハ 之 シ 由 ユ 之 シ 也 ヤ

之 シ 珍 ウツクシ 之 シ 相 アイ 借 カ 取 ク 之 シ

併 トト 之 シ 生 ナマ 之 シ 也 ヤ

如 ニシ 之 シ 海 ウミ 之 シ 也 ヤ

能 ス 之 シ 也 ヤ

作文開化用文

俗務習練ヨノコトニヨ 老ラウ

成熟達オノトモ 清静セイセイ

自適ジテキス 僻地寂ヘキチセキ

寥レウト 間静可人カンセイカニ

塵務蝟集ジンムキシフ

事属緊切コトソラスキンセツ

屢遭阻碍ルバクアフソクカイニ 心シン

醉スヤ 附驥尾ツクキビニ

自玉專一ジゴトクセンイチ 千セン

萬自重マンジチウ 可否報カヒホ

知チ 忽接手教キツテシユ

屢得字ルバクウ 字ジ 全ケン

希世之遇キセイノグヱ 感カン

倚不淺カス 心外シンゲ

千萬センバン 老少無恙ラウセウナシツカ

誦玩再四シヨクケンサイシ

作文開化用文

おむねおむね見立小

竹山派に降参

当分来唯之為ハコ

有侍ハコ

○全答

薰補仕小老意也

復常々向ひ書見の

守力も勤しむ

傾きも極依る貯書

山石屋手後致し保

委曲詳悉ウヰキョクシヨウシツ 伏フシテ

乞台コノタイ 毫リヤク 不堪オホクシラ 不堪オホクシラ

切齒キツシニ 硯池冰シツク 硯池冰ケンチヒョウ

合カサ 且夕面容スリカ 且夕面容タンセキシヨウ

後刻脩謁ゴコクシヨウ 後刻脩謁ゴコクシヨウ

不願ス 菲礼カハレ 不願ス 菲礼カハレ

供清玩コウセイワン 供清玩コウセイワン

慇懃インキン 之至ノオチ 慇懃インキン 之至ノオチ

佩不淺ハイニガ 忽領アツカサ 佩不淺ハイニガ 忽領アツカサ

厚賜カウキ 便宜ケイケン 厚賜カウキ 便宜ケイケン

附上フツ 緩留無クワンリウ 附上フツ 緩留無クワンリウ

妨サマ 參會サンカイ 妨サマ 參會サンカイ

疎ソ 雨アメ 天延會テンエン 疎ソ 雨アメ 天延會テンエン

渴塵カツジン 万斛マンカク 渴塵カツジン 万斛マンカク

端价奉迎センカイ 千チ 端价奉迎センカイ 千チ

載一時サイイツ 盡山ジンサン 載一時サイイツ 盡山ジンサン

乍文月七日

あゝ多分も其し思ふ

幸習文下名如珠

其も少くも其も

主と淫ひ困其教本

且色以著述如中朝

子海を其小説を傳

て入る其は其分滑

其其も其其の中

其其其其其其

其其其其其其

作文開化用文

海之美カノミヲイロク

多言多可タ言タ可

小野コノノ

作文開化用文終

頭書終

版權免許

明治九年十二月廿日

發兌明治十年一月

静岡縣士族

編輯人

久保田梁山

第五大區區外神田五軒町番地

山中市兵衛

第二大區五小區芝三島町十番地

水野慶次郎

第一大區十小區通油町六番地

木村文三郎

第一大區十二小區馬喰町二丁目一番地

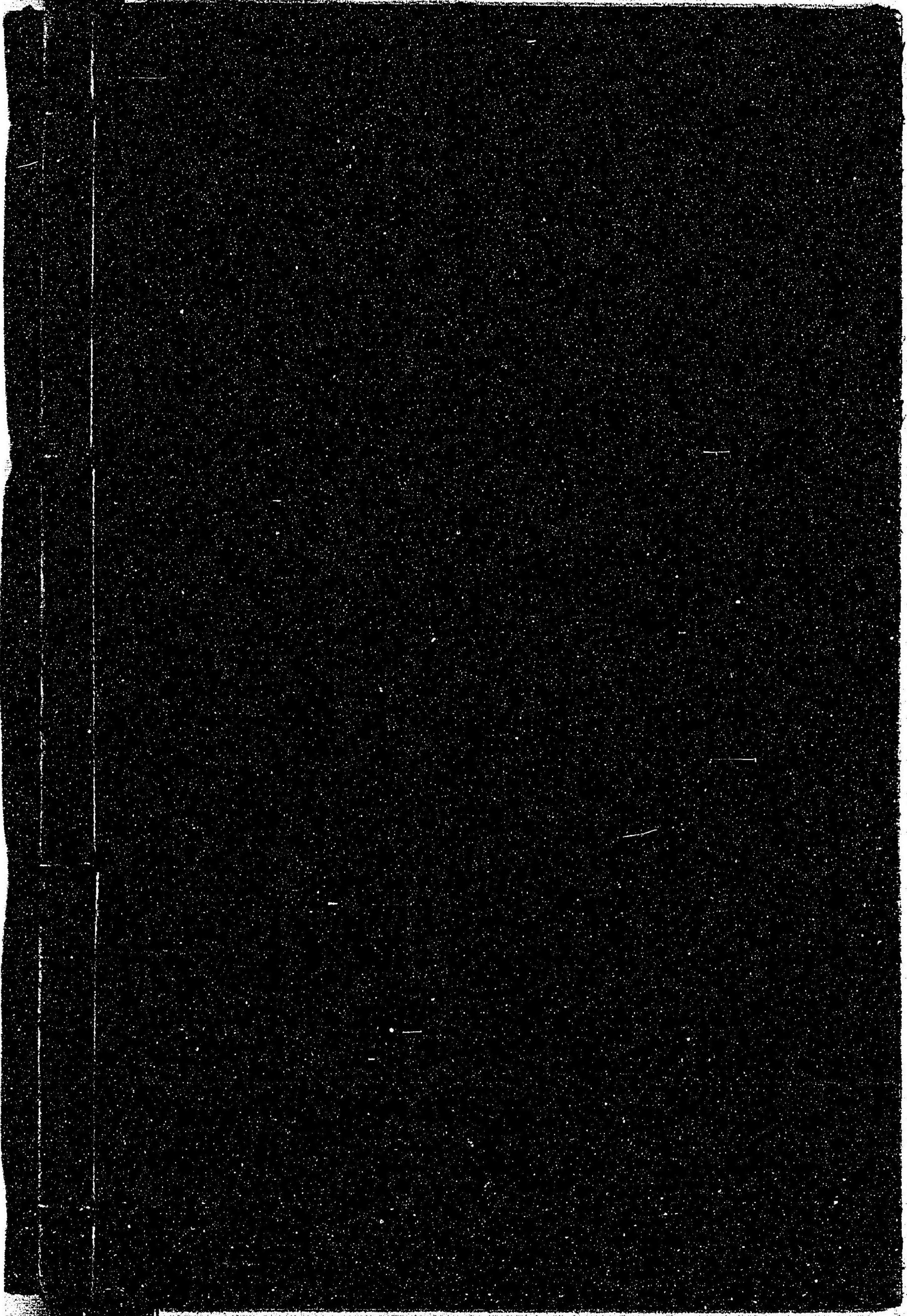
東京

書林



白文

出版



特34
327

079031-000-7

特34-327

作文開化用文

久保田 梁山/編

M10.1

DAC-2918

